

Let's enjoy English! ~えいごのまちだ~

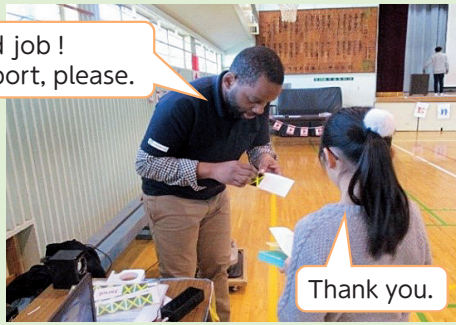
グローバル化が進む中で、英語力の向上は重要となっています。町田市では英語によるコミュニケーション能力の育成に重点を置き、英語教育が本格的に導入される2020年度に先駆け、2018年度から全小学校で新しい学習指導要領に基づく英語教育の先行実施、ALT(外国語指導助手)の増員、放課後英語教室の実施など、様々な取組を進めています。「英語を使ってみたい!」「外国の人とのコミュニケーションって楽しい!」と感じる子どもたちが増えるように、各学校でも異文化を学ぶための活動を行っています。今回はその一部をご紹介します。(今までの町田市教育委員会の取組については、町田市ホームページに掲載されているまちだの教育100号・101号でもご紹介しています!)

世界旅行に出かけよう!

町市内6校で、複数のALTが子どもたちに母国の文化を紹介する「イングリッシュ・フェスタ」を実施しました。カナダのメジャースポーツであるホッケーや、フィリピンの伝統的な踊りであるバンブーダンスなどを体験しました。1つの国の体験が終わると、手作りのパスポートに国旗のスタンプを押してもらえます。異文化体験を楽しみながら、英語によるコミュニケーション能力の向上にもつながる取組です。



Try Bamboo Dance!



Good job! Passport, please.

Thank you.

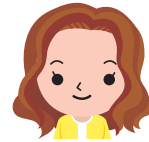
体験を終えて

イングリッシュ・フェスタを終えた後に、感想を聞いてみました。



自分の言いたいことが英語で伝わったのが、とても嬉しかったです。(5年生児童)

いろいろな国について知ることができたのが面白かったです。(5年生児童)



授業で学んだ言い方を復習する形でALTが英語でやりとりしてくれたので、子どもたちも積極的に話せていました。(教員)

各国大使館による学校訪問

2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会の開催に向け、町市内の小・中学校ではアメリカ合衆国、南アフリカ共和国など様々な国の大使館と協力して国際理解教育を進めています。鶴川第三小学校では在日アメリカ大使館にご協力いただき、アメリカの生活や文化について学びました。食生活や暮らしのの違い、学校での過ごし方など、子どもたちは日本の生活とアメリカの生活が大きく異なることを理解することができました。



アメリカの小学校では、お家の人が学校まで送り迎えをしたり、スクールバスで通ったりしているんだよ。

アメリカの小学生の生活は、私たちの学校生活と全く違うことにびっくりした!



国内で英国体験

金井中学校では、ブリティッシュ・ヒルズで2年生の移動教室を実施しました。ブリティッシュ・ヒルズは、食事、建築様式に至るまで中世英国の街を再現した語学研修施設です。生徒たちは、英語で宿舎にチェックインしたり、イギリスの伝統的なお菓子作りを英語で学んだりしました。英国文化に触れることで、「英語を学ぶ意欲が高まった。」という声がたくさん聞こえるようになりました。



イギリスの食文化も体験できたよ。食事のマナーを守ることも、大切な事なんだね。

映画の1シーンと同じようだよ! 英語しか使えない3日間の生活で、英語に自信がついた!

先生たちも頑張っています — 教員研修 —

専門知識・実践的な英会話力の向上



英語の専門知識を高めるために、フォニックス(★)の第一人者である松香洋子先生による研修を行いました。また、授業で使うクラスルームイングリッシュを学ぶ研修や、ALTと少人数グループで実践的な英会話を磨く研修を実施しました。

(★)フォニックス…文字(つづり)と音を結び付けて学ぶ学習方法。自然な発音が可能となり、未習の単語も読むことができるようになるとされている。



授業力の向上



授業の中では、このアクティビティを入れると、子どもたちも楽しく英語を覚えられるですよ。

より良い授業を目指して、MEPS(Machida English Promotion Staff:英語授業指導員)を小学校に派遣し、授業力の向上を図っています。

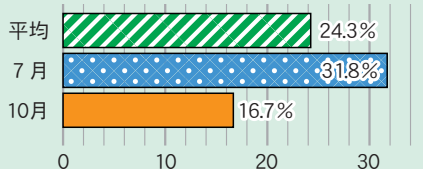
~もっと子どもと向き合うために~ 「町田市立小・中学校における働き方改革プラン」を策定しました

教員の勤務実態を知っていますか?

教員の勤務時間は、原則8時15分から16時45分ですが、勤務時間内は、授業や給食指導、児童・生徒指導などに従事しており、以下のような業務に充てる時間を確保できない状況となっています。

勤務時間外に行う業務の例	
勤務時間開始前	勤務時間終了後
教材研究、学級運営準備 部活動(朝練)	授業準備、教材研究、部活動 学校学級運営の事務 提出物の返却準備、行事の準備

町田市立小・中学校では、平均24.3%の教員が「過労死ライン」とされる時間外在校時間数月80時間を超えて働いています。



※2018年度町田市勤務実態調査(7月・10月実施)より算出

実施する取組例

- ◆学校閉庁日の設定
夏休みなどの長期休業期間中に学校閉庁日を設定します。
- ◆学校への電話に対する音声案内の導入
学校への電話について、勤務時間終了後は音声案内を導入します。
- ◆部活動休養日の実施
教員や生徒の心身の健康の確保のために部活動休養日を実施します。

教員がいきいきと子どもに向き合える環境をつくるために皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

詳しくは町田市ホームページをご覧ください。